



きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

笑門来福

旭町小学校 校長 道山 正史

明けましておめでとうございます。

保護者、地域の皆様の各ご家庭におかれましては、明るく希望に溢れた新年をお迎えのことと存じます。旧年中は本校の教育活動に温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年が皆様にとりましてよき年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

近ごろは「明けましておめでとうございます」というご挨拶も7日ともなると「いつまで正月気分にいるんだ！ みんなもう働いてるんだぞ」という声が聞こえてきそうな街の様子です。昔は成人式のあった15日くらいまで“正月気分”が続いていた気がします。今は正月が短い気がします。ほとんどのお店は年末31日までやっていますし、年が明けても1日から初売りをするデパートがあるくらいです。コンビニは24時間年末年始も関係なく開いています。街が静かに休んでいる時間がとても短いかに無いに等しい。子供たちが羽根つきをする音だけが響くような街がなくなりました。

それでもお正月らしい風物もたくさん日本には残っています。「年賀状」はその最たるものでしょう。さて、その新しい年を迎えて送られてくる年賀状に「笑門来福～笑う門には福来たる～」という言葉を見かけることがあります。これは、お正月などによく使われる縁起のよい言葉です。人間にとって笑うことはとても大切なことで、自分自身の気持ちを高揚させたり、周囲の雰囲気や和ませたりすることができます。お正月に漫才や落語の番組が多くなる、寄席が混むというのも、この「笑門来福」が大いに関係しているせいでしょう。

笑いは人間にとって勇気や希望などをもたらす不思議な力を秘めています。残念ながら私たちの周りには「悪い笑い」も存在します。例えば、他人の失敗をあざけり笑う嘲笑は、悪い笑いの代表的なものです。他人の失敗や災いを笑うことは、人間として絶対に許してはならない卑劣な行為であることは言うまでもありません。新年を迎え、改めてさわやかな笑いと思いやりについて語り合っただけならばと思います。

皆が気持ちよく、楽しく過ごすことができる旭町小学校、いじめや体罰などがなく穏やかな空気の流れる旭町小学校、子供たち全員が安心して過ごせる学校の実現を今年も目指してさまざまな教育活動に取り組んでまいります。

本年もご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

